

鶴島昭雄さん（枚方在住）に聞く 「戦争の体験」（6） 或る海兵隊員

敗戦後の1950年（昭和25年）頃、私は神戸三宮に在ったアメリカ進駐軍専用レストランの案内係としてアルバイトをしていた。このレストランは、友人M君の御尊父が経営に関わっておられた関係でM君や他の2名の学生と共に採用された。勤務時間は午後5時から9時まで、土日を除く毎週5日間の夕食付き勤務だった。当時神戸には三宮近くに米軍キャンプがあり、現神戸大学近くの高台に将校住宅が並んでいた。

1950年6月25日未明、突然北朝鮮軍が38度線を突破して韓国に侵攻してきた。朝鮮戦争の勃発である。にわか米軍キャンプが騒がしくなり、神戸に入港するアメリカ艦艇が激増し、神戸は異常な興奮状態に巻き込まれた。北朝鮮軍の攻撃はすさまじく、米韓軍は次第に後退し、8月に入ると朝鮮半島の南端まで押し捲られ、玄界灘に追い落とされる危険な戦況になった。そんな緊迫状態の9月初旬、特別な客についてクラブの指示があった。

「今夜は特別な兵士だけの営業になる。彼等については一切口外しないように」と言うのである。

[3ページに続く]



（写真説明）

アメリカ海兵隊チャック・シーレン軍曹。救出され、停戦後38度線警備に戻る直前のリラックスタイム。

◆[作家 鶴島緋沙の もぐらの目 50]

天災と人災は忘れないうちにやってくる

- ◆ 鶴島昭雄さんに聞く 戦争の体験(6) 或る海兵隊員
- ◆ 交野市「みんカフェ」で、「わいわいこどもねっと」開催♪
- ◆ 交野で子連れでなごめるお店をシェアしよう！
- ◆ 八幡こども未来塾講座 「親子で『土に学ぼう』」
- ◆ 今月の五行歌
- ◆ 原発賠償関西訴訟第9回期日の傍聴に行きました
- ◆ イベント紹介 ◆ 編集局より／LIP配布場所／会計報告

「LIP編集局」 <http://www.love-dugong.net/lip/>

連絡先

メールアドレス: lip@love-dugong.net

TEL: 070-5653-6913 (18時以降) FAX: 020-4665-8668

郵便振替口座 00920-8-120259 (LIP編集局)



「もぐらの目」(五十)

鶴島緋沙子

天災と人災は 忘れないうちにやってくる

交通機関がすべて止まった阪神国道を、水の入ったペットボトルの箱を持って両側の惨憺たる風景の中、友人の安否を心配しながら歩いてから二十一年。

その上、またまた東北大震災。連日テレビで見る地震と津波の信じられないほどの凄まじさ。それから早や五年が経つ。

ああ、それなのにそれなのに、今回の熊本の地震。私の人生、八十一年の間に日本の国でこんなに度々の災害を経験するとは思ってもみなかった。

百歩譲って天災は致し方ないものとしよう。長年、人間の放出してきたアンチ自然のものがこの広い宇宙にかけがえのないたった一つの地球を、気の遠くなるほどの年月を懸けて様々な生物を育て上げてきた地球を、一番優

鶴島緋沙子さんは、山田洋次監督の映画「学校Ⅲ」の原作となった「トミーの夕陽」や、「私の中げの瀬戸内寂聴」(いずれも、つげ書房新社刊)などの作品で知られる枚方市在住の作家。「大阪府高齢者大学校エッセー文学科」講師。「同大学同窓会枚方・寝屋川・交野合同」の「文章講座」講師。また、「自閉症」の息子さんの母親であり、「枚方自閉症児(者)親の会」の代表です。「もぐらの目」は、隔月連載の予定。これまでの連載をまとめた著書「もぐらの目」が、つげ書房新社から刊行されています。

秀だと信じてきた育ての子、人類が裏切ったのだ。もはや仏の顔もこれまでか。地中のもぐらも我慢の限界か。

その怒りは地球からすればもつともな鉄槌だと納得しよう。

しかし、しかしである。東北大震災による福島原発の災禍。この終わりの見えない放射能による恐怖しさ。これこそ避けられ避けられる、人間が自ら招いた人災である。いい加減にせい！ もはやこれまでと我慢の出来なくなった地球が、怒りを爆発させたに違いない。

どこから考えても人間も含めてすべての生き物にマイナス面しか齎さない原発。その原発の恐怖しさを知りながら敢えて、原発の再稼働を許すこの国の指導者。すべての命の代弁者人間として許しがたい気持ちを持つのは、私ばかりではないはずだ。

そんな今年二〇一六年五月、アメリカのオバマ大統領が広島に降り立った。

彼の顔には終始憂いが漂い、みずから折ったという折鶴を被爆者の気持ちに沿った言葉と共に捧げたという。テレビやマスコミの中



の彼の表情や言葉から窺える限り、その人柄も真摯で好感の持てるものだった。原爆の被害を受けた地での彼の「核兵器廃絶」への決心と声明が、世界の指導者たちを動かすに違いないと私は信じている。果たして横で神妙に聞いていた日本の指導者の心中や如何に。太平洋戦争の始まり、一九四一年十二月八日。私は国民学校(小学校)に入学した年だった。父が、旧制中学校の数学教師だったので、当時の住居、兵庫県西宮市の自宅には、十七、八歳、今の高校生年齢の若者たちが時々、遊びに来ていたのを覚えている。祝日には、父を手伝って女学校に入学したばかりの姉と共に日の丸の旗を出し、新年には家族で祝い、三月には雛を飾り、夏には海水浴。そんな普通の平和な日常が、この日の日本軍の突然の「ハワイ真珠湾攻撃」によって瞬く間に奪われてしまった。小学校五年生での集団疎開。親元を離れた田舎での日々の限りなく心もとなく悲しかったこと。皆で泣きながら眺めた夜空の星を遮るアメリカのB29の機影。やがて敗戦。帰ってみると懐かしい街も家もなく一面の焼け野原。幸い家族は無事だったが。あの人は？ あの八百屋さんは？ 魚売りのおばさんは？ そんな大きな犠牲の上に今の平和憲法がある。



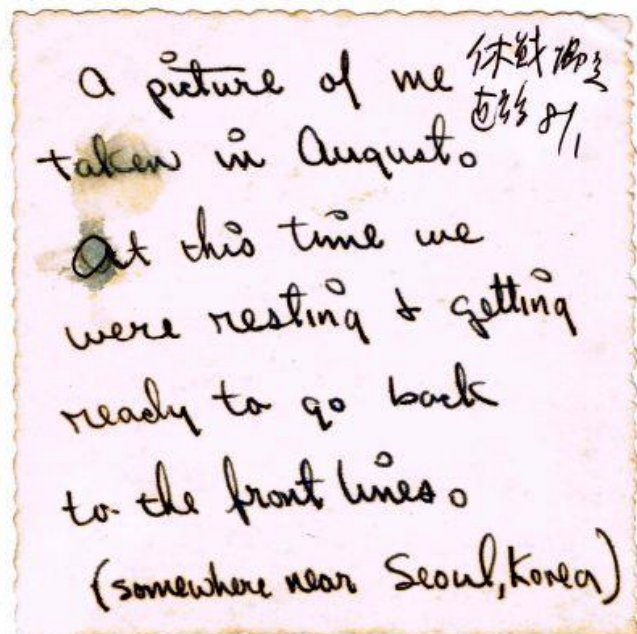
[表紙からの続き]

そして、午後六時過ぎ、軍用バスで35名の海兵隊員が来店した。全員25歳前後の兵士達だった。何となく目付きが鋭く、無口で殺気を放っているように感じられた。彼等が来て1時間ほど経った頃、私がトイレで用を足していると、一人の兵士が入って来た。そして、「話がある。どこか別に部屋は無いかな？」と訊いてきた。私は彼を更衣室に案内した。彼はチャック・シーレン軍曹でサウスダコタ出身の26歳、父は理髪店主で母はワナーハイスクールの音楽教師、と自己紹介した。私は大学2年の19歳でバイト中と説明した。「君は信用できるかな？」必死の眼差しで彼が訊いた。よほど切羽詰まった話らしいと思って「私の亡父は18年間ハワイに居たジャーナリストで、父の友人は今でも私と交流がある」と言うと、彼の目は途端に和やかになった。

彼はグアム基地に勤務していて、この5月に退役し帰国する予定だったが、突然朝鮮戦線に行く命令を受けた。退役を楽しみにしている両親に伝えたい

鶴島昭雄さん(枚方在住)に聞く 「戦争の体験」(6)

或る海兵隊員



(表紙の写真の裏面のチャック自筆説明)

8月に撮影された写真。この時、我々は休息し、前線に戻る準備をしていた。

(韓国ソウル近郊のどこか)

が、家族や友人との連絡を厳重に禁止されているので、この手紙を両親に送って欲しくないか、と言って分厚い封筒を私に手渡した。私は断り切れずそれを受け取った。

「そのまま別の封筒に入れて君の名前で送って欲しい。今度の任務は厳しいので90%命を落とすかもしれない」そう言ってチャック軍曹は私の目を凝視した。その目にみるみる涙が溢れ落ちた。彼は私の手を強く握り、自分はアメリカ海兵隊の特殊部隊に属し、本隊に先行して敵陣に潜り込む。それ以上は極秘だから誰にも言えない。このような戦争が起こ

って残念だが、とんだ親不孝者だ。君が羨ましい。君の国は戦争に負けしたが軍隊を持たないし、すべての若い日本人は兵役の義務がなくなったからね、とチャックは慨嘆

した。わずか10分ほどの話し合いだったが、私にとって忘れられない一時となった。私は彼の手紙に自分と彼の神戸での出会いの様子を伝えるメモをつけてチャック軍曹の自宅へ送った。

それから約7日後の9月15日、米韓連合軍が朝鮮半島中央部の仁川に250隻の艦隊を伴って奇襲上陸を敢行した。この作戦により、戦況は逆転し、連合軍は10月24日に至って韓国全土を奪還した。チャック軍曹達の特殊部隊がこの上陸作戦に先行した事は明白だった。どのようにしたのか、停戦後の1953年8月末、彼がスイスのチューリッヒ経由便で写真と共に送ってきた手紙に依れば、あの特殊部隊は、やはり仁川作戦に参加し、大半が戦死して生存者7名、チャックは敵に捕らえられたが友軍に救出された。彼は38度線の警備についた後、1954年9月、無事帰国し退役したとの事である。

朝鮮戦争に於ける軍民死者総数は約400万、アメリカ軍戦死者は5万3千人に上った。

戦争は、多くの若い命を散らし、上層部の作戦命令によって無念の死に追いやられるのは日本の特攻隊だけでなく、敗者も勝者も同様の不幸を負うことになる。私達は、恐ろしい戦争に断固反対する指導者を選ばねばならない。

文 鶴島昭雄

こども関連の団体、交流しましょ！

交野市の「みんなカフェ」で、「わいわいこどもねっと」開催♪

6月14日(火)午後6時から、交野市役所別館市民活動ルーム「みんなカフェ」で、「わいわいこどもねっと」(「こども関連団体交流会」改め)の定例会(月一度くらいで開催)が開かれました。

この日は8つの団体、計10人の参加。ゲストに「みんなでつくる学校 とれぶりんか」の中川雄二さんを迎えて、お話を聞きました。中川さんは、枚方市の中学校の教師となつてすぐ、「生きづらさを抱える生徒の居場所を」と校内サークルを作り、不登校や知的障害の生徒たちと共に活動をしてきました。やがて2003年に教諭を退職、フリースクール「みんなでつくる学校 とれぶりんか」を作りました。同団体では若者やこどもたちから自主発信の形で、音楽部、演劇部、とれぶカフェ等、多様な活動を行っています。

さて、最近「子どもの貧困」として知られるようになってきた問題ですが、実は1990年代からこのような問題は顕著に増えてきていたのです。しかし渦中にある人たちは地域からのつながりを断たれ、自ら語ることもしない。そのため、身近にそのような問題があっても周囲には気づかれず知られません。「いくらすばらしい制度を作っても、人間不信になっていたら、誰か



に聞いて制度を利用してみようともしない」「自分が生きていることを喜んでくれる人がいる、それが最高の贈り物となる」「一方でお金も大事。自分の力で得たお金でご飯を食べる、それがすごい充実感。やる気が出て、がんばれる」。厳しい現実と未来の希望を語る言葉を、参加者は皆息をつめて聞きました。

「わいわいこどもねっと」次回の会合は、7月の予定で、「みんなカフェ」で行います。「つながってくださる方、ぜひご参加ください。お問い合わせをお待ちしています(sakulearning@gmail.comまで)」と、世話役の「sakuらーにんぐ」秋山深幸さんは呼びかけます。

(LIP編集局 豊高明枝)

交野で子連れでなごめるお店をシェアしよう！座談会 報告レポート

6/13(月)に交野の市民活動ルーム「みんなカフェ」にて、上記シェア会を開催しました。子育て中の私が司会となり、小さいお子さんをもつ親子さんにもっと交野のお店を楽しんでもらい、癒しの場となってほしい！という想いをこめて、仲良くさせてもらっているお店を紹介。参加は子連れママを初め、そんなママを応援したい方。11名の方に視聴いただき、情報交換しました。プロジェクトで映像とともに、店の顔！店長さんの写真をメインに店内、お料理の写真を各5点程映しました。視聴後、参加者は嬉しそうに、どこか誇らしげに「交野にこんな素敵なお店がこれだけあるとは！」と感想を下さいました。シェアタイムも交野愛に満ちたトークが繰り広げられ、フェアトレード店の店長さんは「最近交野に住み始めたママさん達やお店の人だけでなく、市役所の人、市議員さん、市民活動長くやってる人生の先輩方もいて、交流できておもしろかったです」との感想でした。これを元にこんな紹介活動が広がり、ママさんが癒される場が増えればと願っています。

(エトワール 岡本真由美)

シェア会で紹介させていただいたお店：HOHOHOO、グリーンストーン、ホクトシチセイ、(本)ぼんぼんぼん、サロンてぶくろ、スタジオオンブラージュ、いつもがわくわく寺子屋、カフェミーナ、S cafe、シエスタドウソレイユ、カット ワ ココニ(順不同)

八幡こども未来塾講座 「親子で『土に学ぼう』」第1回開催



八幡市に活動の拠点を置く「八幡こども未来塾」は、子育て環境の充実と子どもたちの学力向上を願い、地域の特色を生かした子ども向けの研修講座を行っています。6月12日(日)には、「親子で『土に学ぼう』」講座の第一回として、地域の田んぼで田植えを行いました。

10時集合で田んぼに集まったのは、47家族。お母さんに抱っこされた0歳児から、幼児、小学生まで、総勢126人が、水をはった田んぼの脇に集まり、これから始まる田植えにワクワク。「指を先に土に入れてから、そこに苗を一株ずつ、深く入れていってください」。説明を聞いた後、深いところはおとなの膝下まで泥に埋まる田の中へ、裸足でそろそろみんな入っていきました。台形の形をした田の長辺にあたるところのいちばん手前にひもを渡して、そこが出発点。ひもの後ろに皆一列に並んで、指先にはさんだ苗を、目の前の土の中に入れます。「はい、みんな植え終わったら、ちょっと下がって」。ひもを少しずつ移動させながら、一株一株、みんなで植えて。最初はおっかなびっくりが、だんだん慣れてスピードアップ。1時間もすると、田んぼにすべて苗が植えられました。泥だらけの足を水路でざっと洗って、一仕事を終えた子どもたちは晴れやかな表情です。「次は、ここで水生生物の観察会をします。よかったら、みんな来てね!」希望者は余った苗をバケツに分けてもらい、12時前に解散しました。

次回八幡こども未来塾の講座は、7月18日(祝・月)10時から、水生生物観察会。その後10月には、稲刈りや芋ほり、収穫祭・カレー作りと、親子で自然とふれあう講座が続きます。また、8月2日(火)には、「LED行灯をつくろう」講座も予定されています。

(L I P編集部 豊高明枝)

【参加者募集中】

★H28 八幡こども未来塾講座

親子で「土に学ぼう」(次回以降)

7月18日(祝・月)10時～ 水生生物観察会

10月15日(土)10時～ 稲刈り

10月23日(日)10時～ 芋ほり

10月30日(日)10時～ 収穫祭 カレー作り

20組限定募集中!

対象：八幡市内小学生(1～6年生、幼児も可)と保護者

参加費：1組1,000円 参加者にはもちろんお米2kgを進呈します。

★H28 八幡こども未来塾講座

「親子でエジソンに学びLED行灯をつくろう」
LED電球を使った行灯をつくり、電球の歴史を学びます。

日 時：8月2日(火)10時～

場 所：八幡文化センター展示室

対 象：八幡市内小学生(1～6年生)と保護者

参加費：1,000円(材料費)

定 員：20組先着順

上記2講座共に、

申込方法：ハガキに、住所、氏名、連絡先電話番号をご記入の上、

宛先：〒614-8005 八幡市八幡高坊8-16 キャンドルビル 八幡こども未来塾

問合せ：090-2704-3210(奥村)

LIPが選ぶ

今月の五行歌

英語と数字が並ぶ

血液検査結果用紙

サッパリわからん

1つずつ

アイフォンで調べよう

涙が出るほど笑い

弾む会話で

部屋のはきはきは弾けそう

会えば中学生に

タイムスリップ

雨に似合う

紫陽花、菖蒲

太陽に向日葵

花は思っていないのに

私が決めている

ちえこ

えみこ

ふわり

【五行歌ひらかた歌会】

☆毎月一度月曜日午前10時半～12時半、メセナひらかた諸活動室で集まっています。

問合せ akie.toyotaka@gmail.com
または、090-5893-5635 (とよたか) まで「人の命」と「健康」と「ふつうの人間らしい暮らし」を求める裁判
原発賠償関西訴訟第9回期日の傍聴に行きました。

6月2日(木)大阪地方裁判所で、原発賠償関西訴訟の第9回期日が行われました。この裁判は、2011年3月の福島原発事故で関西に避難してきた人たちが、国と東電に対して、被害の完全賠償をさせること、事実関係を明らかにして、事故の真相究明を行うことを、訴える裁判です。

この日傍聴を求めて集まったのは、109人。傍聴希望者多数のため抽選が行われ、抽選に外れた人のために、地裁の隣にある弁護士会館で法廷とほぼ同時進行で模擬裁判が開かれました。私は運よく傍聴することができました。

異動で裁判長が新しい人になったため、まず、2人の原告による意見陳述が行われました。最初に陳述を行ったのは、乳飲み子を連れて郡山から大阪に母子避難してきた森松明子さん。0歳だったお子さんは5歳になりました。放射線物質が検出された水を飲んで、母乳を我が子に与えるという決断を迫られた苦渋の体験を語り、「裁判長、人の命や健康よりも大切にされなければならないものはあるのでしょうか？」と問いかけました。続いて、浪江町の旧家の家屋敷を改築して故郷に戻ろうとしていた矢先に原発事故が起こり、「帰還困難地域」となってしまった女性の陳述。彼女はこの3月に甲状腺ガンの手術を受けました。避難生活の中で味わったさまざまな理不尽なこと、健康

被害のおそれ、そして、地縁で深くつながっていた人間関係も生活も事故で根こそぎバラバラにされたこと、どうしてこんな事故が起こったのか、裁判を通じて明らかにされるようにと訴えました。続いて、「原告ら準備書面29」がパワーポイントで説明され、15.7mの津波が来るという試算結果を2008年に得ていたにもかかわらず、国が電気事業者とのなれあいによって必要な対策を取らなかったということが述べられました。

その後弁護士会館で行われた報告集会では、原告やサポーター事務局からのお話に続いて、兵庫や京都、東京で行われている訴訟の原告やサポーターからのお話、東京での集会の報告など、次々にたくさんの方が語られました。事故から5年たった今も、事態は改善するどころか、甲状腺ガンの発症数は増加、年間放射線量20mSv未満の地域に対する避難指示の解除とセットで政府指示に拠らない避難者に対する在宅支援を今年度末で打ち切る帰還政策が進められる等、事故で影響を受けた人々の苦悩は増すばかりです。これは、事故で影響を受けなかったという私たちにとって、「他人事」ですませられることなのではないでしょうか？

次回の期日は、8月4日午後2時からです。

(とよたかあきえ)

イベント・サークル・ボランティア情報

枚方自閉症児(者)親の会

＊7月5日(火) 10時～12時
 ＊ラポールひらかた 4階
 ＊無料 お茶、お菓子が出ます。
 ＊連絡先 三浪 (072-868-9929)
 ＊どなたでも歓迎です。

「今だから話せる“少し先”のこと。遺すモノ、遺される側のコト、遺したい想い。一緒に考え、語り合いませんか？」

■日時：7月10日11時15分～12時30分(開場11時)
 ■会場：まちライブラリー@森ノ宮キューズモール
 ■主催者：一般社団法人まごころ相続百貨店、すまいるポスト
 ■連絡先：一般社団法人まごころ相続百貨店
 Tel 06-6366-8822 Mail itono@magocoro-dept.com
 ■参加費用：無料* (お一人様1枚ドリンクチケット¥500をご購入下さい)

最近、相続に関するトラブルが増えています。想いがあるからこそ揉める、「相続」を“争続”にしないために考える3つのポイントについて司法書士・行政書士のお話を交えながら、いざという時にはなかなか話がでない“少し先”のことについて、一緒に考え語り合いませんか？

【参加者募集】 ひらよが

大自然の中で、心地よく体を動かして、心身共にリラックスしましょう。

日時：7月10日(日) 9:30～10:20 (9:20集合)
 場所：枚方河川公園(三矢交差点から土手を斜めにおりたところ)

講師：Yuta (のんびりヨガ)

持ち物：ヨガマットまたはレジャーシート、水分、汗拭きタオル、日焼け防止グッズ

参加費：運営協力金100円～ でご参加いただけます。
 ＊申込不要。＊十分な日焼け対策をお願いいたします。

＊雨天中止です。中止の場合当日8時半にホームページに掲載しますのでご確認ください。(「ひらよが」で検索)

＊ご質問は、Email: hirayoga@yahoo.co.jpまで。

共催：特定非営利法人 ひらかた市民活動支援センター

ひらかたハートセラピー協会

YBC(笑)-スポーツ応援クラブ-

『ひと夏のボランティア』参加者募集

■日時：7月23日(土)・24日(日)の2日間

※宿泊ではありません

■会場：ラポールひらかたなど

■主催者および連絡先

NPO法人 北河内ボランティアセンター

Tel/Fax: 072-848-4166

E mail: npo-kvc@kit.hi-ho.ne.jp

■参加費用：500円(入場料、保険料など)

■対象：高校生～30歳代

ボランティアをしてみたいけれど、きっかけがなくて…そんなあなたのためのボランティア体験プログラムです。

知的障がいのある子どもたちと遠足やレクリエーションを楽しめます。同世代のスタッフがサポートします！安心してご参加ください。

無添加石けん・手作り作品 6月の販売予定

・「わたしの家」お祭り 7/22(金)：

・みなよし販売 7/24(日)：

・フリーマーケット 7/29(金) 10:00～

障害者労働センターにて

・バザー 7/12(火) 27(水) 10:30～

市役所前の岡東町公園にて

・廃油回収 7/19(火) 10:30～

さだ生涯学習市民センター前にて

＊＊近隣にお越しの際はぜひいらしてください！皆でお待ちしております＊＊

障害者労働センター 枚方市中宮山戸町10-12-101

TEL072-848-0508

ネットショップ URL: <http://paso0508.cart.fc2.com>

みんなの学校上映会&木村泰子先生講演会

■日時：8月28日(日曜日)

■会場：ドーンセンター【パフォーマンススペース】

■主催/連絡先 みんなの学校を広める会 072-813-5670

■参加費：午前・午後各大人1,000円 小学生500円 一日券大人1,500円 小学生800円

「すべての子どもに居場所がある学校をつくりたい」「学校が変われば地域が変わる。そして社会が変わっていく」ということばがチラシにも書かれていますが、大阪市住吉区の大空小学校、初代校長の木村先生がつくって来られた子ども、先生、地域の方々との取り組みをぜひ皆さんに知って頂きたいです！

申込先：<http://www.kokuchpro.com/event/373715/>

予測不可能な災害に対して

飼い主としてペットのために備えておきたいこと

■日時：8月29日(月曜日)

■会場：難波市民学習センター【講堂】(OCAT4階)

■主催/連絡先 特定非営利活動法人 心織(こころ)

cocorudog@gmail.com

後援：公益社団法人 大阪府獣医師会・大阪市獣医師会

■参加費：第1部/第2部 こころ会員 各2,500円 非会員 各3,500円

終日参加 こころ会員 4,500円 非会員 6,500円

第1部 飼い主としてペットのために災害にそなえておきたいこと

第2部 災害発生時の周囲とのネットワーク作り・現状とこれからのあり方

熊本大震災チャリティセミナーとし、ご後援くださる大阪府獣医師会・大阪市獣医師会をとおして「熊科大震災動物救済活動支援義援金」に参加費のうちからおひとり1000円を寄付いたします。

申込先

<http://www.kokuchpro.com/event/11223939/>

憲法カフェ

憲法カフェをします。大橋さゆり弁護士にわかりやすくお話をさせていただきます。

お茶とお菓子付きです。どうぞお気軽にご参加ください。

〈いつ?〉7月17日(日) 14:00～16:00

〈どこで?〉交野市ゆうゆうセンター 3F研修室

(JR河内磐船駅下車歩3分または京阪河内森駅下車歩7分)

〈お話〉大橋さゆり弁護士(明日の自由を守る若手弁護士の会)

〈テーマ〉「緊急事態条項」って何?

〈参加費〉500円

〈呼びかけ〉憲法とくらしを考える会・交野

平和で豊かな枚方を市民みんなで作る会

〈連絡先〉憲法とくらしを考える会事務局 090-9713-0652

LIPは、次の場所に置かせていただいています。

- ★ 各生涯学習市民センター・図書館・メセナひらかた3Fウィル・ひらかたNPOセンター
- ★ 枚方市ボランティアセンター [ラポールひらかた内 072-841-0181]
- ★ 北河内ボランティアセンター [枚方市磯島茶屋町 20-1-101 072-848-4166]
- ★ 子ども家庭支援センター ファミリーサポートひらかた [枚方市招提南町 2-50-1 072-850-4400]
- ★ コミュニティーカフェ ラテール [枚方市西禁野 1-3-27 禁野ロバース前 072-848-0418]
- ★ NPO法人 りりあん [枚方市長尾元町 6-39-15 lilian@kcat.zaq.ne.jp]
- ★ 婦人洋品店 シャルム [枚方市南楠葉 1丁目 2-16 ぐずは公民館向かい 072-850-1362]
- ★ 喫茶 Dik Dik [枚方市岡本町 8-17 072-846-5377]
- ★ 街かどデパート 藤阪愛逢 [枚方市藤阪元町 2-27-1 072-855-6978]
- ★ 泉屋 楠葉店 [枚方市楠葉並木 2-2-2 072-868-3060]
- ★ 身体障害者共同作業所 キッズ枚方コミュニケーションズ [枚方市堤町 2-1-103 072-861-6360]
- ★ 京都総合会計事務所 [枚方市西禁野 2-4-17 第5松葉ビル 301 072-805-5252]
- ★ ソーイングの店 みなよし [枚方市香里ヶ丘 3-11-3-4 072-854-0756]
- ★ 枚方市地域包括支援センター社協こもれび [枚方市南楠葉 1-30-1 エクセレントビル 203号室 072-856-9177]
- ★ WAVE34(ボウリング場) [枚方市田口 4-11-8 072-848-0450]
- ★ ヘアースタジオぱべぽ [枚方市南楠葉2丁目 4-3 072-850-9070]
- ★ 枚方市役所(市民活動課・環境総務課・人権政策室) [枚方市大垣内町 2丁目 1-20 072-841-1221]
- ★ 枚方市役所 津田支所 [枚方市津田北町 2-25-1 072-858-1502]
- ★ (財)枚方市文化国際振興団 [枚方市岡東町 8-33 市民会館内 072-843-1122]
- ★ 枚方市総合福祉センター [枚方市津田東町 2-26-1 072-858-5835]
- ★ (社)福やなぎの里 精神障害者通所授産施設 ばびるす [枚方市大字尊延寺 2200 072-859-0245]
- ★ NPO法人パーソナルサポートひらかた [枚方市中宮山戸町 10-12-105 072-848-8825]
- ★ 自閉症療育センター Link [枚方市岡東町 24-10 アイエス枚方ビル3階 072-841-2411]
- ★ 紅茶専門店VIE [枚方市南楠葉 1-1-34 072-856-2355]
- ★ shot bar カボチャノース [枚方市牧野下島町 14-22 072-809-7676]
- ★ ポパイ商店 [枚方市山之上2丁目 16-9 072-846-7232]
- ★ NPO法人ハートネット [枚方市村野西町 1-27 072-805-4373]
- ★ クッキー工房おれんじはうす [枚方市交北3丁目 3-10 072-856-8378]
- ★ 陶器食器のお店 a new sprout [枚方市堤町 2-14 072-846-9550]
- ★ 雑貨/カフェ ルポ・デ・ミディ [枚方市堤町 10-12 072-843-1525]
- ★ 渦潮ベーカリー楠葉店 [枚方市町楠葉 1-30-6 072-856-5420]
- ★ 輝きプラザ「きらら」 [枚方市車塚 1-1-1]
- ★ 三代目たくちゃん ピーコ [枚方市牧野阪2丁目 7-30 080-3785-1728]
- ★ MIKIHOUSE キャラメル [枚方市牧野阪 2-9-15-105 072-857-6626]
- ★ 株式会社 丸天酒店 [枚方市牧野阪 2-5-23 0120-39-7003]
- ★ MogaJogaDining 枚方宿 [枚方市堤町 2-15 072-846-3535]
- ★ bar moonshine [枚方市宇山町 4-8 072-866-5667]
- ★ とくふうホーム [枚方市大字尊延寺 4592-24 072-858-4058]
- ★ 音楽療法スペース ウッドヴィレッジ [枚方市牧野下島町 9-12 070-857-3540]
- ★ みんなでつくる広場「ちょこっと」 [枚方市楠葉野田 2-30-8 072-856-9439]
- ★ スパルレ枚方南 [枚方市津田山手 1丁目 24-1 072-808-4126]
- ★ やすらぎの丘霊苑 [枚方市大字尊延寺 4588 番 4 072-896-1212]
- ★ 蒔のいえ [枚方市甲斐田町 5番 25号ウエストヒルズ102号 072-805-2660]
- ★ ちいさいまぐえん みんなの里 [枚方市楠葉並木 2-28-4 072-845-6814]
- ★ 韓国茶が楽しめるカフェ「Cafe Cajjo」 [西禁野 2-8-3 072-848-8481]
- ★ ぐずはアートギャラリー [枚方市楠葉花園町 15-1-2302 本館ハナノモール 3階]
- ★ カフェサリ [枚方市山之上4丁目 30-1 竹本ビル1階 072-844-0011]
- ★ カフェル ボン [枚方市高田2丁目 20-17 072-396-8785]
- ★ 「市民の広場」ひこばえ [枚方市大垣内町 2-8-27 シンエビル別館A室 072-846-8780]

- ★ フレッシュベーカリー ラッキー [寝屋川市早子町 18-1 072-821-0413]
- ★ ヘアサロンおもち [交野市私部 3-17-2 072-891-5024(予約優先)]
- ★ えんどう村作業所 [交野市天野が原町 2丁目 14-20 072-893-4890]
- ★ 小規模通所授産施設 ミルキーウェイ [交野市天野が原町 2丁目 14-20]
- ★ 交野市役所内すいすいネット [交野市私部 1丁目 1-1]
- ★ ギャラリー天野が原 [交野市天野が原町 5丁目 20-5]
- ★ Cut wa Coconi [交野市梅が枝 55-13 072-893-0020]
- ★ 大衆酒場 金八つあん 交野店 交野市私部3丁目 18-1 072-894-2277
- ★ 大阪府衛生会附属診療所 [高槻市奈佐原 955 072-696-3351]
- ★ 宇治田原社会福祉事務所 [綴喜郡宇治田原町荒木天皇 2 0774-88-2394]
- ★ むく福祉会 ワークホーム れつ [綴喜郡宇治田原町費田船戸 38-1 0774-88-5846]
- ★ ベビーフェイスプラネット松井山手 [八幡市欽明台北1 ソフィアモール内 075-982-3271]
- ★ 「月桃の花」歌舞団 十三スタジオ [大阪市淀川区木川西 3-4-20 2F 06-6885-8475]
- ★ 西宮男女共同参画センター ウェーブ [西宮市高松町 4-8 0798-64-9495]
- ★ ふらっとねやかわ [寝屋川市東大和町 2-14(市立産業振興センター5階) 072-800-5789]
- ★ ふれあいプラザ香里 [寝屋川市香里南之町 19-17 フレスト香里園5階 072-835-3335]
- ★ 大東市立生涯学習センター アクロス [大東市末広町 1-301 072-869-6505]
- ★ フェルデンハウス北斗星 [寝屋川市田井町 5-26 070-5435-1965]
- ★ 青年の家 [交野市私部2丁目 29-1 072-892-7721]
- ★ 大阪府立男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター) [大阪市中央区大手前 1丁目 3-49 06-6910-8500]

とれぶカフェ

日付：7月22日(金)
 場所：ラポールひらかた4階
 ミーティングルーム1、2
 時間：18時30分～20時30分
 参加費：高校生以上 500円
 小・中学生、障がい者 300円
 ヘルパー、幼児 無料
 是非お越し下さい♪ 歌とお茶を用意してます♪

応援ありがとうございます！

L I P 応援団

安部晴代さん 渡辺洋一郎さん

L I P 会計報告 (前号以降)

金額(円)	内容
62,234	前号から繰り越し
3,000	応援団寄付
▼500	6月ロッカー代
▼4,170	6月号印刷代
▼960	郵送代
59,604	計(次号へ繰り越し)



New

イラスト 表紙：平井由恵
 裏表紙：平井ともしき



「枚方市民にだけ」
 読んでほしい情報サイト

枚方つーしん

検索